



## 平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横田 晃洋

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部管轄

(氏名) 松永 浩

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	2,782	5.1	△75	—	△83	—	△75	—
27年6月期第1四半期	2,647	15.4	△41	—	△35	—	△46	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 △82百万円 (—%) 27年6月期第1四半期 △31百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	△14.59	—
27年6月期第1四半期	△9.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第1四半期	4,964	3,634	72.8
27年6月期	4,999	3,789	75.4

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 3,613百万円 27年6月期 3,771百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年6月期の配当予想は未定としております。

### 3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	7.2	200	774.9	200	270.5	50	—	9.70
通期	11,500	8.5	800	71.2	800	64.8	400	72.0	77.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期1Q	5,160,269 株	27年6月期	5,155,067 株
② 期末自己株式数	28年6月期1Q	228 株	27年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期1Q	5,158,441 株	27年6月期1Q	5,116,239 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続く中で、企業収益は改善しました。また、個人消費は、消費者マインドの持ち直しに足踏みがみられるものの、実質総雇用者所得は持ち直しており、総じて底堅い動きとなっております。

モバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォン契約比率(注1)は、平成27年3月末に構成比54.1%となっており(注2)、また、平成26年のスマートフォンにおけるゲーム・ソーシャルゲーム等市場規模は、前年比60%増の8,938億円(注3)まで成長しており、今後も同環境は発展していくことが予想されます。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をテーマとしたコンテンツ作りを追求しつづけるとともに、中期戦略として、日本語版恋愛ドラマアプリのノウハウを英語版恋愛ドラマアプリ及びサスペンスアプリへ展開することで、ターゲット市場の拡大を図っております。当期は、日本語版恋愛ドラマアプリの新規ユーザー獲得及び既存ユーザーのARPPU(注4)向上、英語版恋愛ドラマアプリの注力路線の絞り込み、サスペンスアプリの新規タイトル投入と、KPI向上により、さらなる収益の拡大に努めてまいります。

当第1四半期連結累計期間における売上は、日本語版恋愛ドラマアプリのF2P(注5)は、前年同期比でソーシャル専門PF(注6)向けが減少しましたが、OS系PF(注7)向けが増加し、計画を上回りました。P2P(注8)は、前年同期比でOS系PF向け及びキャリア公式PF(注9)向けが減少しましたが、計画比では上回りました。全体では、2,373,140千円(前年同期比6.4%増)となりました。

英語版恋愛ドラマアプリは、L10N(注10)は前年同期比で増加し、計画を上回りました。DRAGON(注11)は、シリーズ初となる新規タイトルの投入を行いました。US REAL(注12)は新規タイトルのリリース延期等により減少し、計画を下回りました。全体では、407,122千円(前年同期比38.3%増)となりました。

サスペンスアプリは、新規タイトルのリリース延期等により前年同期比で大幅に減少し、2,286千円(前年同期比98.1%減)となりました。

以上により、売上全体では、前年同期比で増加し、概ね計画通りとなりました。

費用は、コンテンツ数の増加及び名作IP(注13)タイトルのロイヤリティ増加による外注費の増加、OS系PF向け売上の増加に伴う販売手数料の増加、人員増加による労務費の増加等がありました。また、広告宣伝費については、モバイル広告を抑えるなど効率的に使用し前年同期比では減少しましたが、テレビCMの追加出稿等により計画比で大幅に増加しました。

以上により、費用全体では、前年同期比及び計画比で増加しました。

利益は、費用の増加により前年同期比及び計画比で減少しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,782,549千円(前年同期比5.1%増)、営業損失75,508千円(前年同期は営業損失41,213千円)、経常損失83,340千円(前年同期は経常損失35,688千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失75,284千円(前年同期は四半期純損失46,947千円)となりました。

当第1四半期累計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

(日本語版恋愛ドラマアプリ)

F2Pは、新規タイトル「花より男子～F4とファーストキス～」 「ダウト～嘘つきオトコは誰?～」が好調に立ち上がりましたが、「LINE 悪魔と恋する10日間 Heaven's Kiss」が初期不具合等により低調に推移しました。また、既存タイトル「天下統一恋の乱 Love Ballad」 「鏡の中のプリンセス Love Palace」等が好調に推移しました。ユーザー獲得施策は、平成27年8月に「天下統一恋の乱 Love Ballad」 「鏡の中のプリンセス Love Palace」、9月に「花より男子～F4とファーストキス～」のテレビCMを出稿しました。

P2Pは、新規タイトル「教師たちの秘密の放課後」が好調に立ち上がりました。また、既存タイトル「上司と秘密の2LDK」等も好調に推移しました。ユーザー獲得施策は、平成27年9月に「偽りの君とスキャンダル」 「上司と秘密の2LDK」のテレビCMを出稿しました。

(英語版恋愛ドラマアプリ)

L10Nは、新規タイトル「Kiss Me on Clover Hill (注14)」「My Last First Kiss (注15)」「Gossip Girl: PARTY Style Your Love (注16)」が好調に立ち上がりました。また、既存タイトル「Kissed by the Baddest Bidder (注17)」「My Forged Wedding:PARTY (注18)」等も好調に推移しました。ユーザー獲得施策は、平成27年7月から8月にかけてコンテンツ横断イベントを実施し、計画以上の効果が得られました。

DRAGONは、シリーズ初となる新規タイトル「Labyrinths of Astoria (注19)」を投入し、KPIは概ね好調に推移しました。また、シリーズ化に向けた2アプリ目の制作に取り組みました。

US REALは、平成27年8月にF2P新規タイトル「Kisses & Curses」のテストリリースを実施し、引き続き北米への本格展開に向けた制作に取り組みました。

(サスペンスアプリ)

収集・育成要素を含む新規タイトルの投入を予定していましたが、ベータ版の評価を踏まえ、投入予定時期を第2四半期に延期し、クオリティの向上に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,964,865千円(前連結会計年度末比34,419千円減)となりました。

流動資産は、3,636,808千円(前連結会計年度末比50,987千円減)となりました。その主な要因は、現金及び預金が114,408千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、1,328,056千円(前連結会計年度末比16,567千円増)となりました。その主な要因は、無形固定資産が53,508千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,330,272千円(前連結会計年度末比120,723千円増)となりました。

流動負債は、1,330,272千円(前連結会計年度末比120,723千円増)となりました。その主な要因は、未払費用等が149,740千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、3,634,592千円(前連結会計年度末比155,143千円減)となりました。その主な要因は、利益剰余金が152,606千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、引き続き、「恋愛と戦いのドラマ」をテーマとしたコンテンツ作りを追求しつづけるとともに、平成28年度6月期第2四半期は、以下の取り組みを行ってまいります。

1. 日本語版恋愛ドラマアプリ

「ダウト～嘘つきオトコは誰?～」のKPI向上及び広告強化、LINE GAMEにおける「LINE 悪魔と恋する10日間 Heaven's Kiss」の集客拡大及び2アプリ目の検討、「花より男子～F4とファーストキス～」のKPI向上及び名作IP次タイトルの検討を行う。また、VIPアイテムの仕様決定及び開発、キャラ推し新シリーズの仕様決定及びベータ版の開発を行う。

2. 英語版恋愛ドラマアプリ

前期に引き続き注力していく路線の絞り込みのため、DRAGONのシリーズ化に向けた2アプリ目の制作を行う。また、US REAL F2P新規タイトル「Kisses & Curses」の北米への本格展開に向けたクオリティの向上を行う。

3. サスペンスアプリ

3アプリ目「六本木サディスティック騎士(ナイト)」を投入し、収集・育成要素によって、目標KPIの達成を図る。

- (注) 1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合  
2. 出所：株式会社MM総研「スマートフォン契約数および端末別の月額利用料金・通信料」 2015年6月11日発表  
3. 出所：一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調査 2015年8月24日発表  
4. ARPPU：Average Revenue Per Paid Userの略称。課金ユーザー1人あたりの平均売上金額  
5. F2P：Free-to-Playの略称。基本プレイ無料・アイテム課金制のコンテンツ  
6. ソーシャル専用PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF  
7. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット  
8. P2P：Pay-to-Playの略称。ストーリー単位の個別課金制のコンテンツ

9. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト
10. L10N：北米市場向けアニメ絵であり、日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳したコンテンツ。Localizationを意味する省略表記
11. DRAGON：北米市場向けアニメ絵であり、北米市場向けに作ったコンテンツ。北米向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来。対ユーザー呼称AmeMix(アメミックス)
12. US REAL：北米市場向けリアル絵のコンテンツ(旧：USオリジナル)
13. 他社の知的財産を用いたタイトル
14. 邦題：「ルームシェア素顔のカレ」
15. 邦題：「大人の初恋、はじめます」
16. 邦題：「ゴシップガール～セレブな彼の誘惑～」
17. 邦題：「スイートルームで悪戯なキス」
18. 邦題：「誓いのキスは突然に」
19. 平成27年10月に、「Astoria: Fate's Kiss」へ名称変更しております

以上により、平成28年6月期の連結業績予想は、平成27年8月13日付の「平成27年6月期 決算短信[日本基準] (連結)」で公表した内容から変更なく、売上高11,500百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益800百万円（同71.2%増）、経常利益800百万円（同64.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益400百万円（同72.0%増）を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,820,557	1,706,148
売掛金	1,722,355	1,746,118
前払費用	68,877	66,811
繰延税金資産	69,141	77,328
その他	8,302	42,093
貸倒引当金	△1,438	△1,691
流動資産合計	3,687,796	3,636,808
固定資産		
有形固定資産	343,195	310,259
無形固定資産		
ソフトウェア	555,946	609,454
無形固定資産合計	555,946	609,454
投資その他の資産	412,347	408,342
固定資産合計	1,311,488	1,328,056
資産合計	4,999,285	4,964,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	194,332	213,034
未払金	5,979	-
未払費用	756,669	906,409
未払法人税等	108,617	4,868
賞与引当金	-	106,567
その他	143,951	99,392
流動負債合計	1,209,549	1,330,272
負債合計	1,209,549	1,330,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	922,314	923,215
資本剰余金	887,914	888,815
利益剰余金	1,897,942	1,745,335
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,707,975	3,557,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,629	1,119
為替換算調整勘定	61,053	55,644
その他の包括利益累計額合計	63,682	56,763
新株予約権	18,077	20,660
純資産合計	3,789,735	3,634,592
負債純資産合計	4,999,285	4,964,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,647,577	2,782,549
売上原価	899,993	1,068,534
売上総利益	1,747,583	1,714,015
販売費及び一般管理費	1,788,797	1,789,523
営業損失(△)	△41,213	△75,508
営業外収益		
受取利息	274	270
受取配当金	7	7
助成金収入	330	8,586
為替差益	4,960	-
雑収入	3	417
営業外収益合計	5,575	9,281
営業外費用		
為替差損	-	17,113
雑損失	50	-
営業外費用合計	50	17,113
経常損失(△)	△35,688	△83,340
税金等調整前四半期純損失(△)	△35,688	△83,340
法人税、住民税及び事業税	32,581	811
法人税等調整額	△21,322	△8,867
法人税等合計	11,258	△8,056
四半期純損失(△)	△46,947	△75,284
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,947	△75,284



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△46,947	△75,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,764	△1,510
為替換算調整勘定	14,158	△5,408
その他の包括利益合計	15,923	△6,918
四半期包括利益	△31,023	△82,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31,023	△82,203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。